

メタノール中毒に対し早期の血液透析が有効であった一例



〇〇市立〇〇総合医療センター 〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇

CH₃OH



背景

メタノールは塗料、溶剤、燃料などで一般販売されており、容易に入手することができる。自殺企図などの目的でメタノールを飲むことで中毒を起こし、治療の遅れにより眼球や中枢神経に重篤な後遺症を残す。本報告ではメタノール中毒を診断し、早期の血液透析により良好な経過を辿った症例を紹介する。

症例 30歳代女性

現病歴：中学生のときから精神的に不安定であった。高校生の時に拒食症で精神科に通院、入院歴もある。X-1日18時に自殺目的で自室で燃料用アルコール（メタノール95% エタノール4% 水分1%）を200ml内服。翌X日13時に近医を受診した後、当院に紹介受診となった。

既往歴：摂食障害、甲状腺機能亢進症（治療後寛解） 家族歴：なし

内服歴：パロキセチン塩酸塩水和物、クロキサゾラム散 嗜好歴：飲酒なし、喫煙なし アレルギー：なし

意識：JCS 1 血圧：111/73mmHg 心拍数：64/min 呼吸数：21/min 体温 36.3℃

心音：整 雑音無し 呼吸音：清 雑音無し 腹部：平坦軟、圧痛無し 四肢浮腫：無し 皮疹：無し

入院時検査所見

血液検査

WBC	4.9 ×10 ² /μL
RBC	4.49 ×10 ⁶ /μL
Hb	13.9 g/dL
PLT	239 ×10 ³ /μL
TP	7.3 g/dL
ALB	4.3 g/dL
T-Bil	0.6 mg/dL
AST	16 IU/L
ALT	11 IU/L
AMY	107 IU/L
CK	106 IU/L
Na	137 mEq/L
K	3.8 mEq/L
Cl	106 mEq/L
Ca	8.2 mg/dL
UN	7.9 mg/dL
CRE	0.49 mg/dL
eGFR	114.7
UA	5.2 mg/dL
LDH	152 IU/L
BS	87 mg/dL
CRP	0.01 mg/dL

動脈血ガス

pH	7.254
pCO ₂	24.9
pO ₂	132
HCO ₃	10.6
Lac	8
AG	25

尿検査

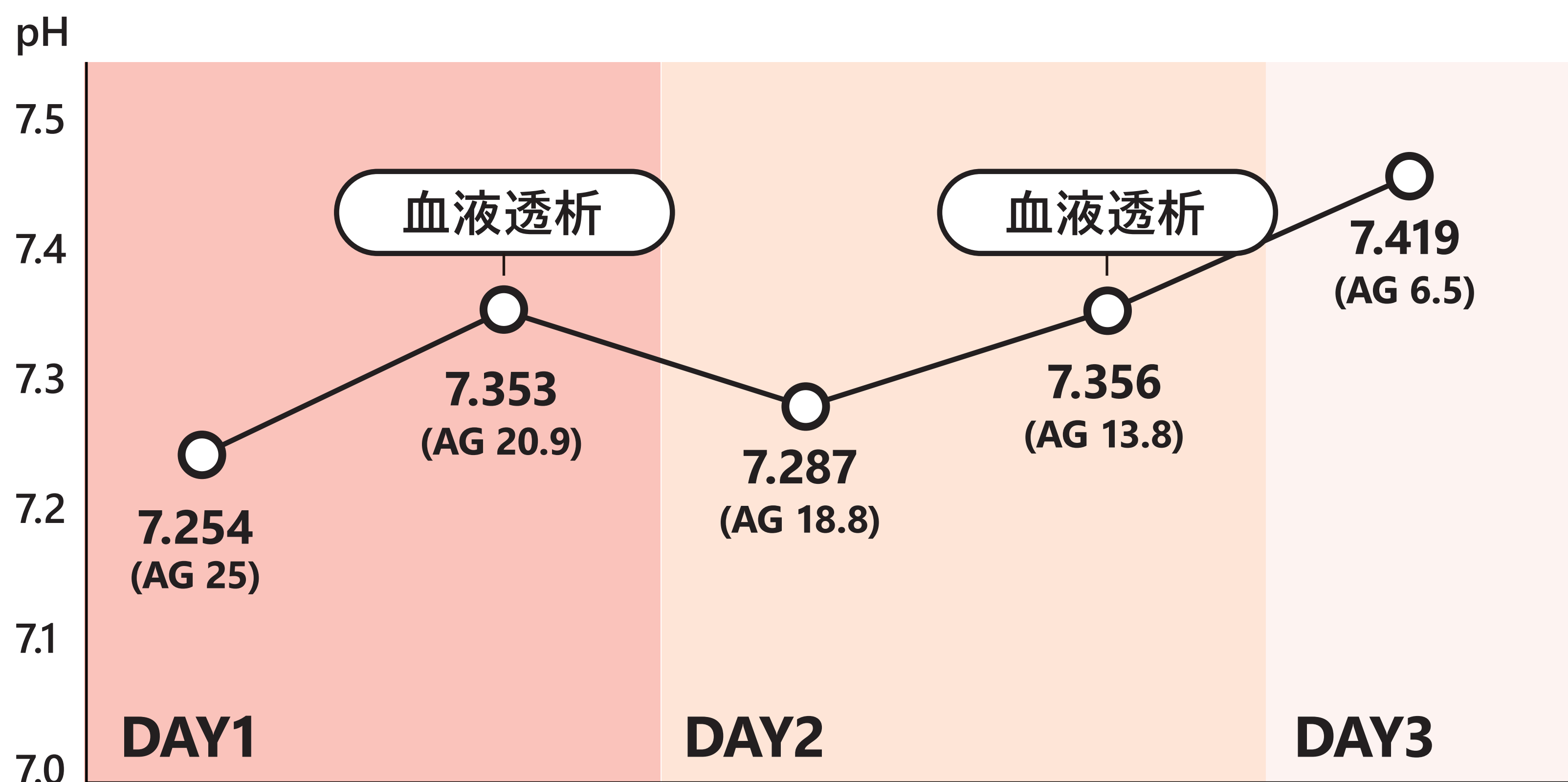
比重	1.009
ケトン体	(1+)
赤血球	<1 /HPF
白血球	<1 /HPF
尿蛋白	0.08 g/g・cre
NAG	4.44 IU/g・cre
AG	25

血中メタノール濃度

CH ₃ OH	230 mg/dL
--------------------	-----------

入院後治療経過

著明なAG開大性アシドーシス、メタノール内服の病歴からメタノール中毒と判断し、計2回血液透析を施行した。



考察

病歴、血液ガスからメタノール中毒を疑い、早期に治療介入できた。早期の透析を行うことで良好な転機をたどったと考えられた。

メタノールは代謝物であるギ酸が体内に蓄積することにより、重篤な眼症状や中枢神経症状をきたすため、中毒症状を即座に診断し、体外への排出をさせる必要がある。

血液透析ではメタノール、ギ酸の除去が可能のため、中等症～重症なメタノール中毒を疑えば積極的な血液透析が有用であると考えられる。